

# 道東太平洋沖の流速場（2020年02月 海況速報No.192 付記）

2020/03/

中央水産試験場 海洋環境G、釧路水産試験場、函館水産試験場

釧路水産試験場所属試験調査船「北辰丸」による、流れの調査結果をお知らせします。

**親潮**：親潮の本流（O1：流速30～60cm/s程度（100m深））は根室の沖合を西南西に流れており、襟裳岬の南まで達しています（図1）。この本流より岸側には、親潮水（100m深5℃以下）が分布していますが、その範囲は平年に比べて非常に狭くなっています（図2）。

**暖水（えりも以東）**：親潮本流の沖側には非常に強い北東向きの流れ（W1：流速80～100cm/s程度（100m深））が分布しており、そこでは100m深水温が平年よりも最大8℃前後高い暖水が分布しています（図2）。これは南から張り出している暖水の北端部分と考えられます。

**津軽暖流**：日高湾には海峡から流出した暖水（100m深7～8℃）が分布しており、広い範囲で平年よりも100m深水温が2～3℃高くなっています。いっぽうで、津軽暖流（TW1：流速40～60cm/s程度（100m深））は青森沿岸に沿って南下しています。

**今後の見通し**：2月は平年ならば親潮が大きく伸張する時期ですが、今年は平年に比べてかなり範囲が狭く、流れも弱い状態です。今年は一年を通して親潮が弱勢のまま継続する可能性もあります。今後の情報にご注意ください。

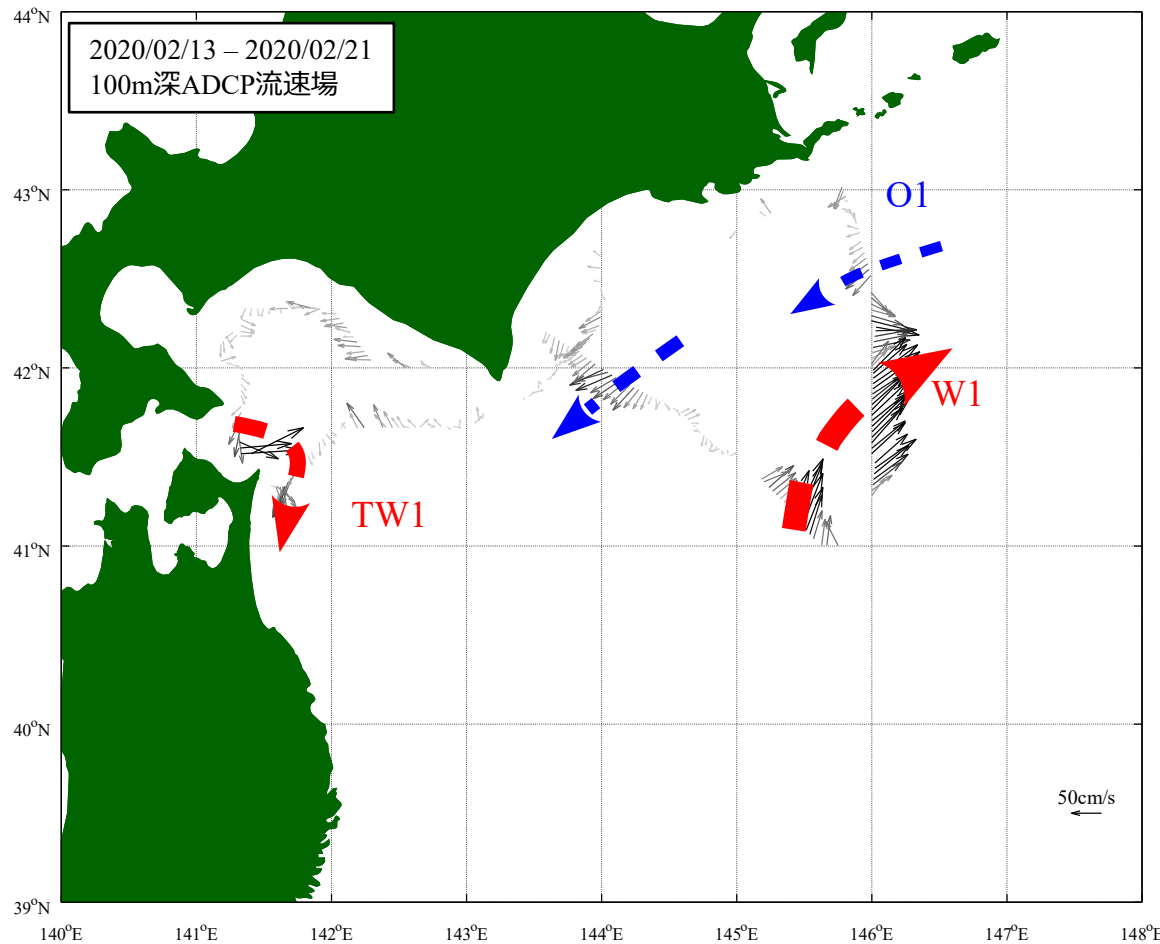


図1 ADCPによる100m深の流速場と模式図。実線矢印は向きでその場所の流向を、長さや色の濃淡が流速を表す。点線矢印は推定された親潮（青）、暖水（赤）の流れの模式図

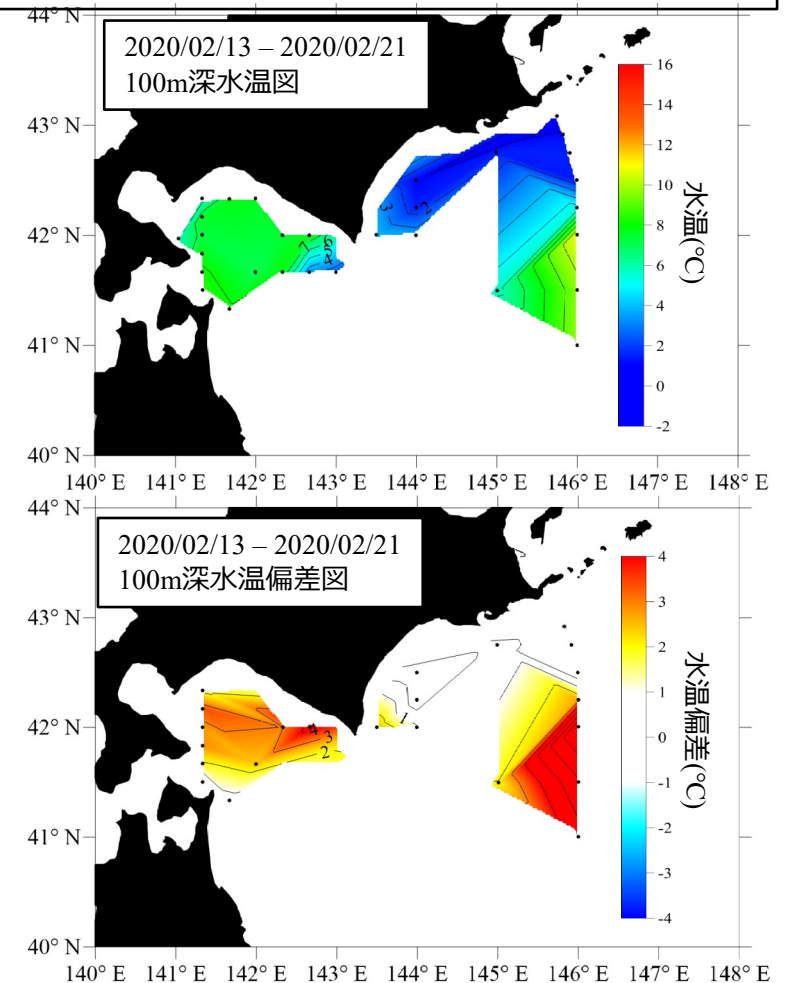


図2（上）100m深水温図  
（下）100m深水温偏差図（1989～2018年平均からの差）